

個人投資家さま向け会社説明会

三和ホールディングスの概要と取り組み

2025年2月6日

三和ホールディングス株式会社

(東証プライム・証券コード：5929)

代表取締役社長

高山 靖司



三和ホールディングス株式会社

本日本話する内容

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 01 会社概要 | 10 長期ビジョンと中期経営計画 |
| 02 三和グループの歴史 | 11 社会に貢献する商品・サービス |
| 03 三和グループの売上高構成 | 12 ESGマテリアリティとKPI |
| 04 日本における主要商品 | 13 株価推移 |
| 05 日本における強み | 14 株主還元 |
| 06 米州における強みと主要製品 | 15 株主優待情報 |
| 07 欧州における強みと主要製品 | 16 外部からの評価 |
| 08 アジア事業の成長力強化 | 17 コーポレートサイト |
| 09 業績推移 | |

「予想」に関する注意

当資料に記載されている内容は、様々な前提に基づいたものであり、記載された業績予想、各施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

01 会社概要



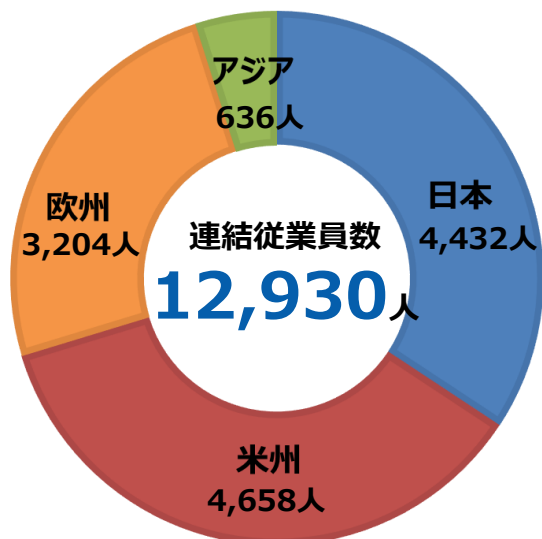
三和グループの使命

安全、安心、快適を提供することにより社会に貢献します

三和グループの経営理念

- 一、お客様すべてが満足する商品、サービスを提供します
- 一、世界の各地域で評価されるグローバルな企業グループとなります
- 一、個人の想像力を結集して、チームワークにより、企業価値を高めます

従業員の地域別構成比



会社概要

設立

1956年

連結子会社

71社

連結売上高

6,111億円

営業利益

654億円

営業利益率

10.7%

展開地域

27の国と地域

生産拠点

63カ所

(2024年3月期)

02 三和グループの歴史

1956 三和シャッター製作所として兵庫県尼崎市に設立

1963 本社を東京へ移転

1969 三和ドア工業(株)を設立し、ドア事業に進出

1970 東京・大阪両証券取引所市場第1部に上場

1986 香港・シンガポールに現地法人を設置、初の海外進出

1996 米国オーバーヘッドドア社を買収

2003 欧州ノボフェルムグループを買収

2007 持株会社体制へ移行

2016 監査等委員会設置会社へ移行

2019 鈴木シャッターを買収



操業時の太田ドア工業



オーバーヘッドドア社 買収

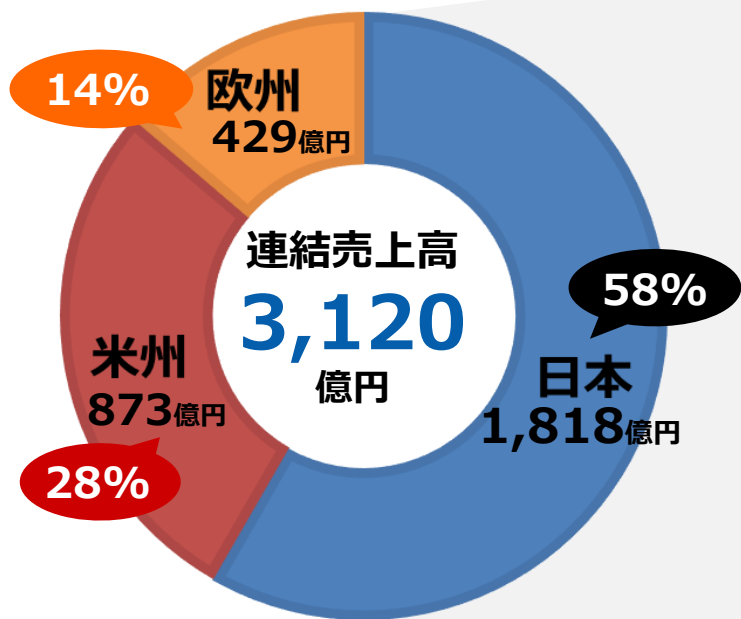


ノボフェルムグループ 買収

03 三和グループの売上高構成

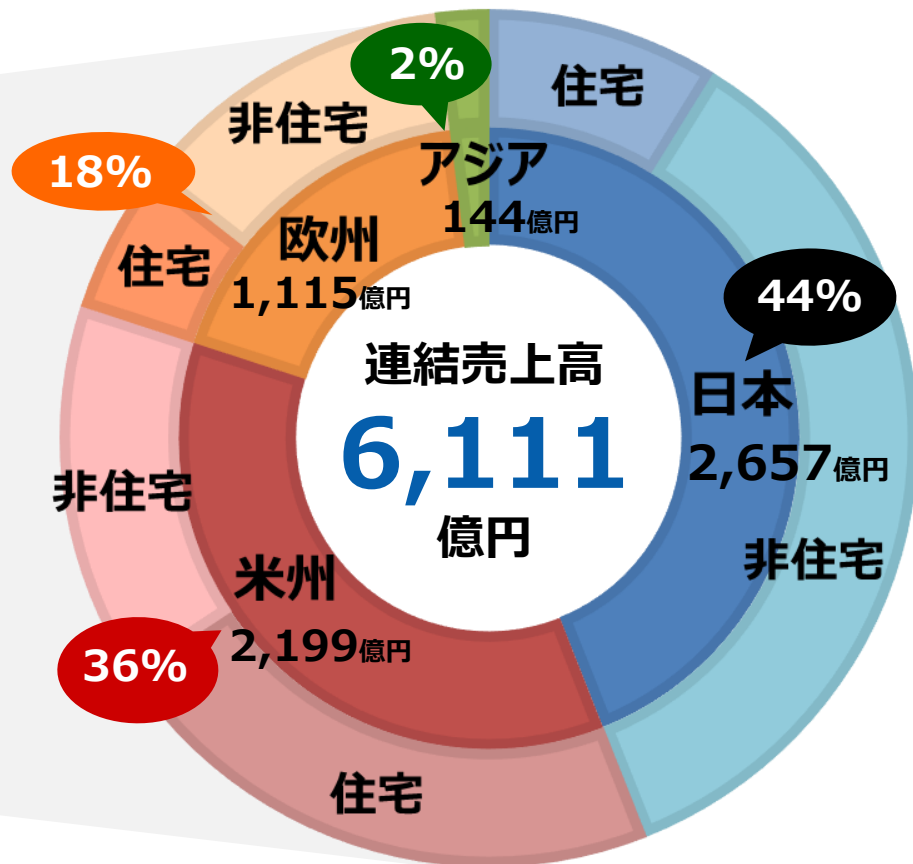
当社グループの強みである「多品種化」「グローバル化」「サービス」を継続的に強化し、グローバルトップブランドへと拡大を続けています。

2013年度 売上高構成比



営業利益率 **6.6%**

2023年度 売上高構成比




営業利益率 **10.7%**

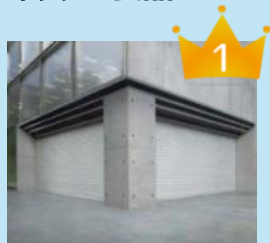
* 三和ホールディングス及び連結相殺が表示されていないため、合計とは一致しない。

04 日本における主要商品

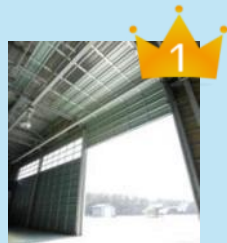
日本

 : マーケットポジション

シャッター製品



重量シャッター



オーバースライダー



軽量シャッター



高速シートシャッター
「クイックセーバー」シリーズ



断熱スライダー



窓シャッター
「マドモア」シリーズ



ウォーターガード
防水シャッター



耐火クロス製
防火・防煙スクリーン



ガレージドア

ドア製品



スチールドア

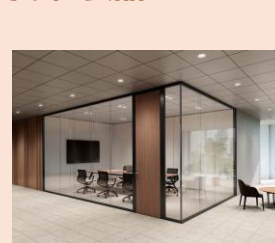


マンシヨンドア



医療施設向けドア
「スムード」シリーズ

その他製品



間仕切



ステンレスフロント



自動ドアエンジン



アルミフロント



カーテンウォール



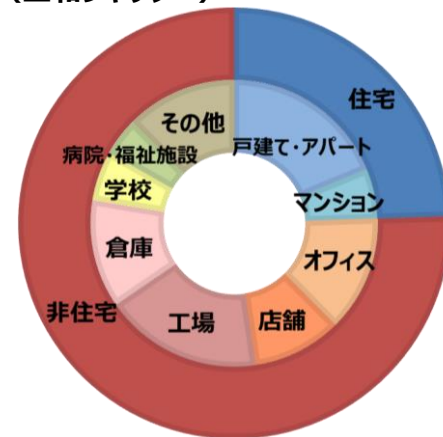
メールボックス
宅配ボックス

05 日本における強み

日本



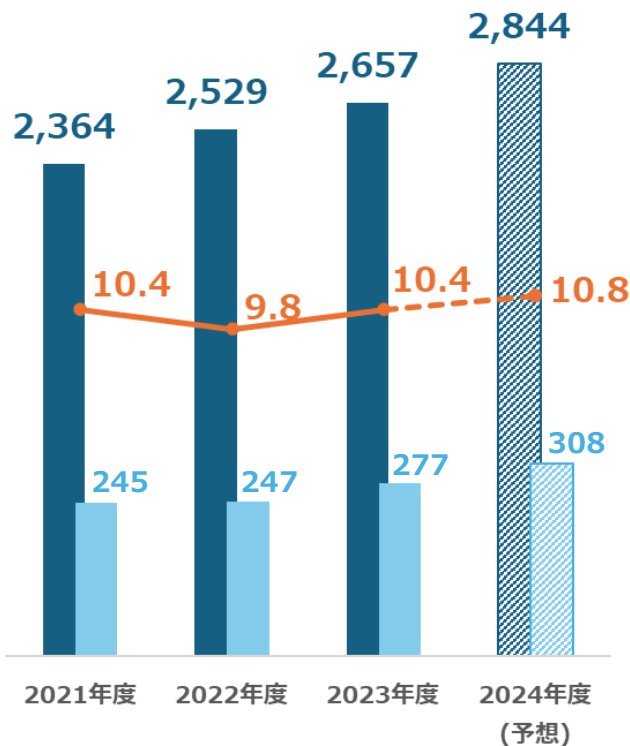
2023年度製品用途別売上構成
(三和シャッター)



特徴

- 三和シャッターを中心とした全国に広がる販売・製造拠点網
- 施工・アフターサービスまで一気通貫のビジネスネットワーク
- 3,900名超の施工技術者を全国配置した強固な施工体制
- シャッター、ドアだけではない“多品種ラインアップ”

■ 売上高 ■ 営業利益 ● 営業利益率 億円



市場動向

主力の非住宅向けではこの先も需要は堅調に推移する見込み。

- ・オフィス、商業施設
大都市圏において、大型再開発プロジェクトが進行中。
- ・工場
国内回帰等により建設が堅調に推移。
- ・倉庫、物流センター
大型物流センターの建設は高水準を維持。

主な取り組み

- ・販売価格
物流費・工事費・人件費の増加分や鋼材価格上昇分の売価転嫁により、採算性を確保。
- ・高付加価値商品の拡充
防災・減災・環境配慮商品やIoT技術を駆使したスマート化製品ラインアップの拡充。
- ・メンテ・サービス事業
2016年より、防火設備検査が法制化され、法定検査が伸長。
収益性が高い修理・メンテナンス売上は国内事業全体の約20%近くを占める。

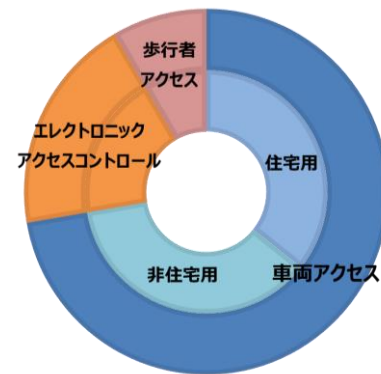
06 米州における強みと主要製品

米州 – オーバーヘッドドア社 –

The Genuine. The Original.



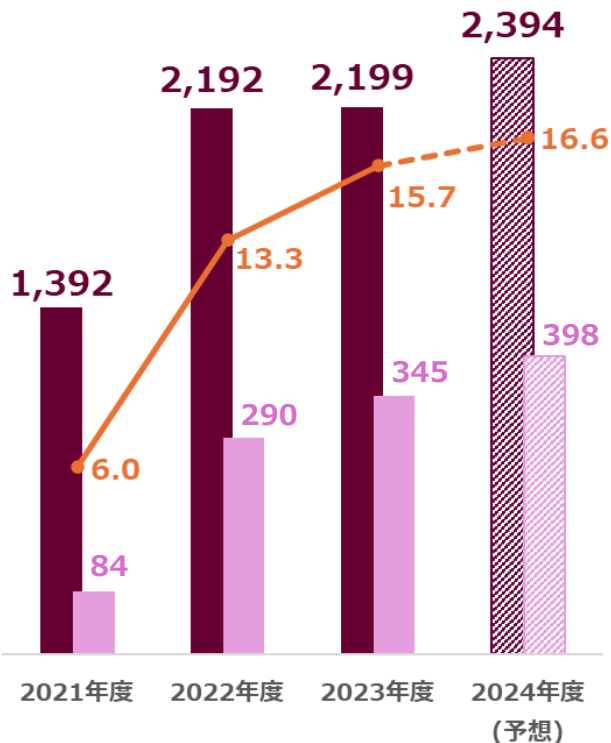
2023年度製品用途別売上構成



特徴

- 1921年創業の業界のパイオニア
- 商品ラインアップが豊富
- 強固な販売ネットワーク
(約450カ所の代理店/全米に広がる数千の販売店/ネット販売)
- シェア維持のための強靱な製造ネットワーク

売上高 営業利益 営業利益率 億円



市場動向

- ・住宅向け
金利引き下げも後押し、需要回復が見込める。人口増により、長期的な需要増を見込む。
- ・非住宅向け
半導体・自動車等の工場建設やデータセンター・店舗が堅調。

主な取り組み

- ・市場シェア
新商品投入やチャネル強化によりシェア向上。
- ・販売価格
鋼材価格の上昇分を販売価格に転嫁し、高水準で販売価格を維持、高い収益性を確保。
- ・コスト削減
製造・配送等の生産性改善や生産拠点最適化の推進。

			
産業用シャッター	ガレージドア	開閉機	自動ドア
車両アクセス		エレクトロニック アクセスコントロール	歩行者アクセス

07 欧州における強みと主要製品

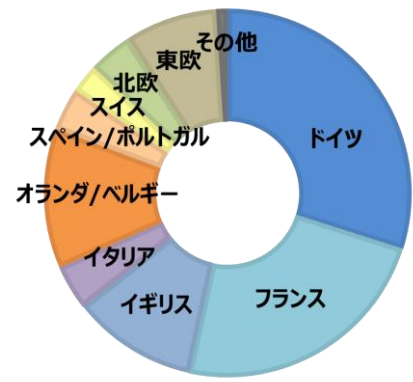
欧州 – ノボフェルムグループ –



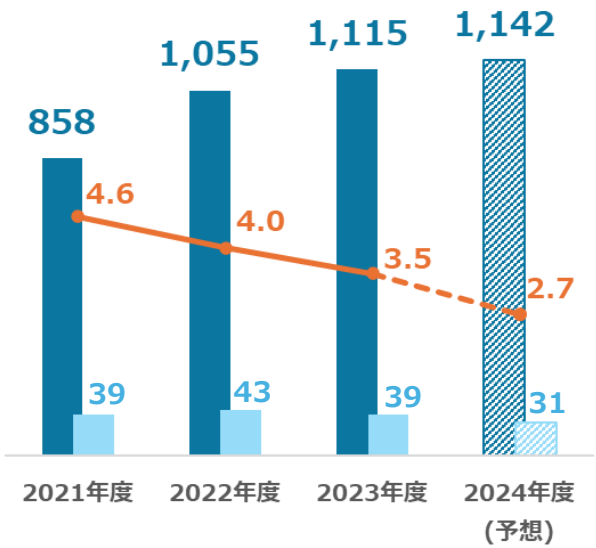
特徴

- 1955年創業の業界2位のシェア
- M&Aによりコア製品のシェアアップ
- サービス事業の強化
- 顧客視点でデジタル化されたプロセス

2023年度国別売上構成



売上高 営業利益 営業利益率 億円



市場動向

- ・住宅向け
ドイツ・イギリスなどは厳しい状況にあるが、南欧では、回復の兆しが見えており、25年以降の回復を予想。
- ・非住宅向け
住宅同様建設環境は厳しいが、工場・倉庫をなど産業用の落ち込みは比較的軽微であり、25年に底打ちを予想。

主な取り組み

- ・ M&A戦略
シェアの低い地域において、M&Aによりシェア拡大に努める。
- ・ サービス事業
産業ドアを中心にサービス事業を強化し、収益確保に努める

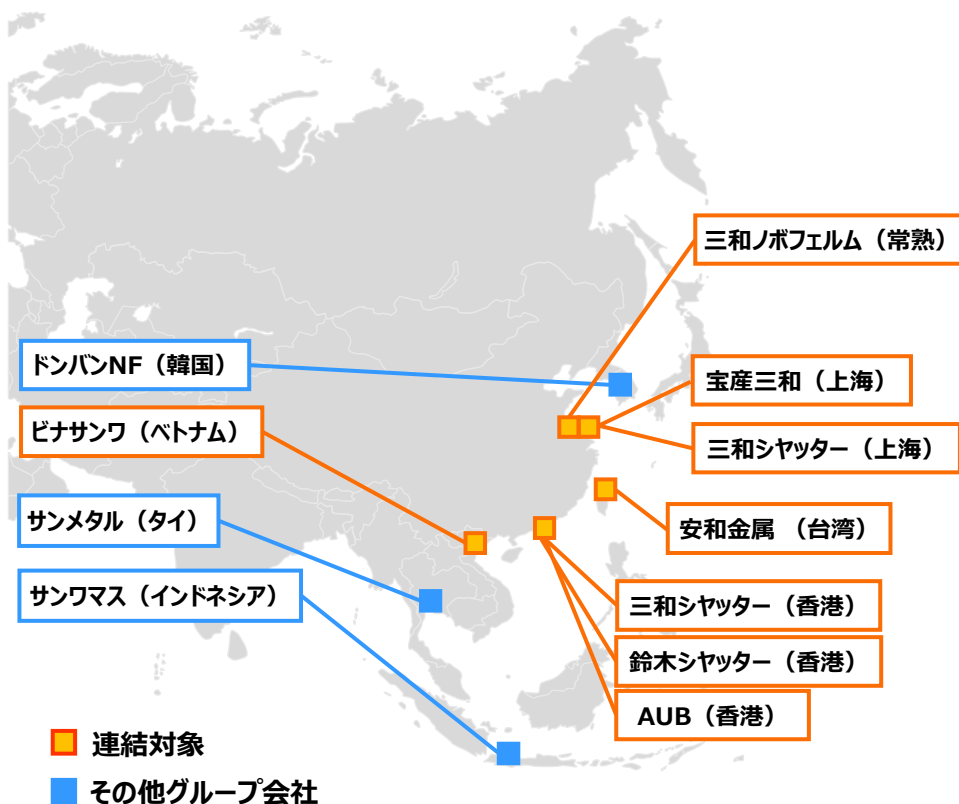


産業用ドア ガレージドア スチールドア ドックレバラー

08 アジア事業の成長力強化

アジア

戦略 グループ各社の一体運営強化 および連結対象事業の拡大



	2023年度 通期実績	2024年度 通期予想
売上高	144億円	155億円
営業利益	5.8億円	4.0億円

特徴

- 1986年に業界に先駆けてアジア（香港・シンガポール）へ進出
- 日本の技術を活かした高品質な製品ラインアップ
- グループ各社の販路・技術力を活用
- 2022年にはアジアで初となるM&Aとして香港AUB社を買収、事業強化と領域拡大を進める

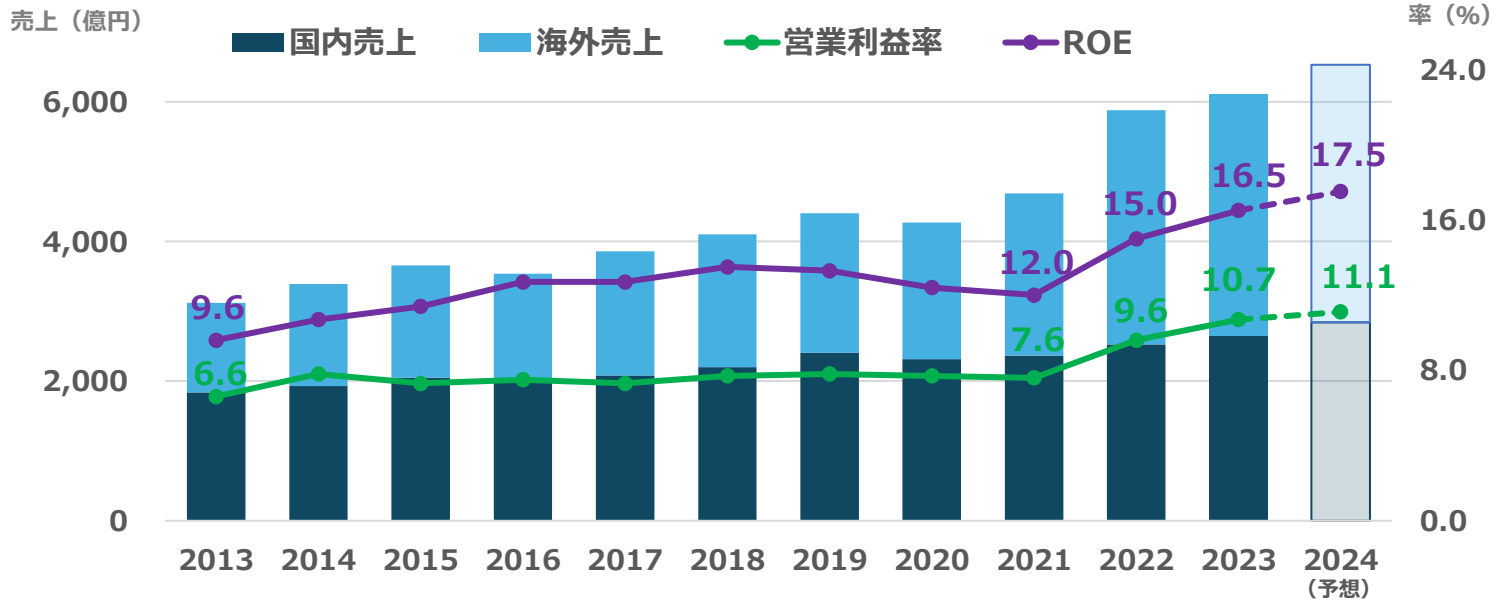
市場動向

- ・工場向け、オフィス向けなど非住宅の割合が大きい。
- ・中国市場は低迷しているが、香港・台湾が堅調に推移。
- ・ベトナム、インドネシアなどアセアン諸国は将来的に経済発展の可能性の高い地域。

主な取り組み

- ・ローカル化の推進
- ・防火・遮熱市場への攻略

09 業績推移



- 売上高は、約**3,400**億円増加、特に海外売上高は**2.9**倍に
- 営業利益率は、**4.5**ポイント上昇

左記数値は全て2013年度と2024年度(予想)の対比

2024年度 第3四半期 決算

決算のポイント (3Q累計)

国内、米州が牽引し、売上、利益ともに過去最高。
通期予想は、2Q発表時予想を据え置く。

- 売上高は、日米での数量増により前年比+9.1%の増収 (+396億円)
- 営業利益は、数量効果と売価転嫁の浸透に加えて、米州でのコスト削減効果もあり前年比+23.8%の大幅増益 (+98.1億円)

	2023年度 通期実績	2024年度 3Q累計実績	2024年度 通期修正予想	中計2024 目標
売上高	6,111億円	4,751億円	6,530億円	5,800億円
営業利益	653.6億円	509.7億円	725.0億円	450.0億円
営業利益率	10.7%	10.7%	11.1%	7.8%
ROIC (注1)	22.6%	-	23.5%	17.5%
ROE (注2)	16.5%	-	17.5%	13.5%

(注1) ROIC = 税引後営業利益(NOPAT) / 投下資本 × 100
 ※ROICで用いる投下資本は、現金および現金同等物、投資有価証券を除いて算定
 (注2) 株主資本コストは8%を目標

2030

三和グローバルビジョン2030

To be a Global Leader of Smart Entrance Solutions

～高機能開口部のグローバルリーダーへ～

気候変動やデジタル化などで変化する社会のニーズに応える高機能な開口部ソリューションをグローバルに提供し、サステナビリティ経営と人材力強化により全てのステークホルダーから評価される企業グループとなります。

2024

中期経営計画2024（2022～2024年度）

基本戦略

- 1.日・米・欧のコア事業（シャッター・ドア、サービス）の強化、領域拡大
- 2.アジア事業の成長力強化
- 3.防災・環境対応製品の拡充と製品・サービスのスマート化推進
- 4.デジタル化とものづくり革新による生産性向上
- 5.サステナビリティ経営の推進

2022

11 社会に貢献する商品・サービス

気候変動やデジタル化などで変化する社会のニーズに応える気候変動対応や防災に貢献する商品の品揃え強化と商品・サービスのスマート化・IoT化を推進します。

気候変動

緩和

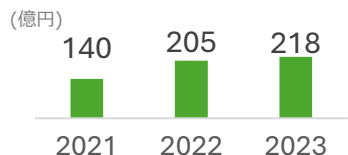
空調効率を向上させる高速シートシャッターや断熱効果のあるオーバースライダーなど、地球温暖化の進行を食い止める“緩和”に貢献する商品



2024年度目標
960 億円

適応

気候変動の進行に備えた防水・耐風商品など、気候変動による被害の回避・低減に備える“適応”に貢献する商品

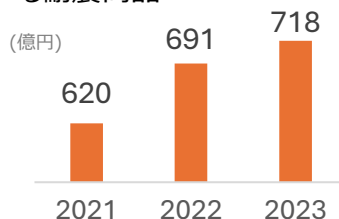


2024年度目標
180 億円

防災

防災に貢献する商品

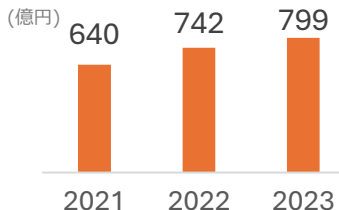
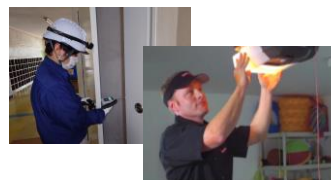
火災発生時の延焼防止に貢献する防火シャッター、防火ドア、耐火間仕切や、地震発生時の安全な避難に貢献する耐震商品



2024年度目標
810 億円

防災機能を支えるメンテナンス・サービス

社会インフラとしての防災機能の維持と、住み続けられるまちの実現に貢献するメンテナンス、点検、修理サービス



2024年度目標
760 億円

スマート化・IoT化

便利で快適な暮らしを実現するスマート化・IoT化商品



RemoSma
スマートフォン操作システム
(三和シャッター)



Aladdin Connect
スマートフォン操作システム (ODC)



Homematic IP
Smart Home System
ガレージドア用操作システム (NF)

12 ESGマテリアリティとKPI

中計最終年度として、KPI達成へ向け施策を推進、次期中計を見据えた取り組みも進めていく

ものづくり



2024年

- ドックレベラー「Mechanical Pit Leveler」を発売（ODC）
- 耐風形軽量シャッター「耐風ガードLS 防火設備仕様」を発売（三和シャッター工業）



耐風形軽量シャッター「耐風ガードLS 防火設備仕様」
（三和シャッター工業）

2024年度KPI

- 気候変動（緩和・適応）
貢献商品 **1,140億円**（連結）
- 防災商品 **810億円**（連結）

今後のテーマ

- 環境貢献効果の定量化
- 課題解決商品のラインアップ[※]拡充

環境



2024年

- Scope3算定カテゴリーおよび第三者検証範囲の拡大（三和シャッター工業）
- 三和NF常熟/三和シャッター工業静岡工場に太陽光発電設備を導入



▲三和NF常熟



▲三和シャッター工業静岡工場

2024年度KPI

- Scope1+2 CO2
排出量**10%**削減
（三和シャッター工業）

2030年度KPI

- Scope1+2 CO2
排出量**30%**削減
（三和シャッター工業）
- 水使用量・廃棄物排出
原単位**10%**削減
（三和シャッター工業）

今後のテーマ

- 削減目標の再設定
- 生物多様性への対応

人



2024年

- 人権デュー・デリジェンスの実施
- 次世代リーダー育成/女性社員向けキャリアアップ研修/キャリアブラッシュアップ研修の実施
- 海外ODC研修の実施



次世代リーダー育成研修

2024年度KPI

- 人権デュー・デリジェンスの実施

2030年度KPI

- 女性管理職比率 **15%**（連結）
- 女性従業員比率 **20%**（連結）

今後のテーマ

- 人権DDの範囲拡大
- 人材戦略に合わせたKPIの再設定

ガバナンス



2024年

- 指名・報酬委員会の議長を社外取締役任
- コンプライアンスeラーニングを全社員向けに実施

2024年度KPI

- ボードダイバーシティ対応
- ステークホルダーダイアログ
実施回数：**200回**

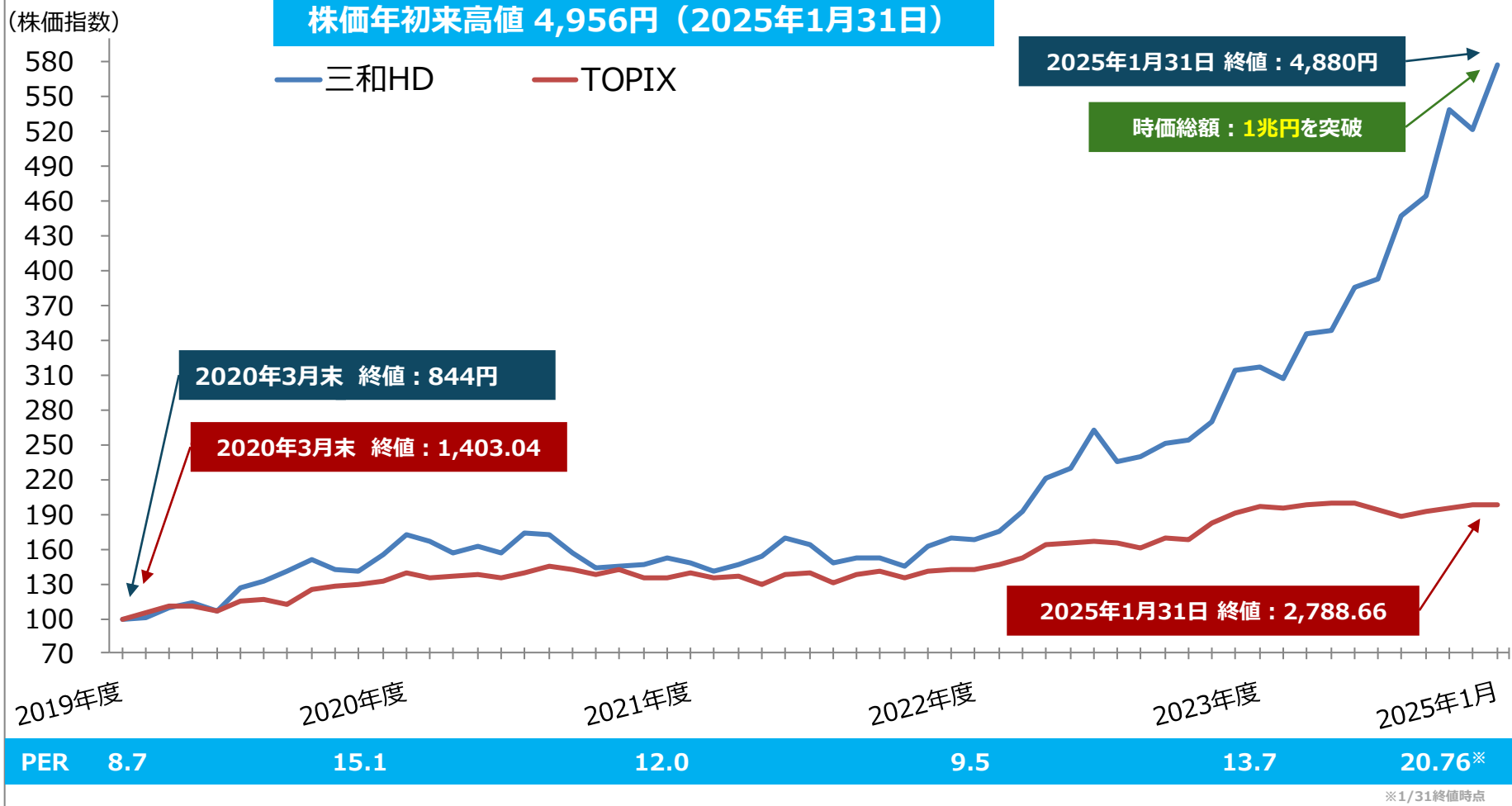
今後のテーマ

- 取締役会の実効性向上
- 多様なステークホルダーとの対話

13 株価推移

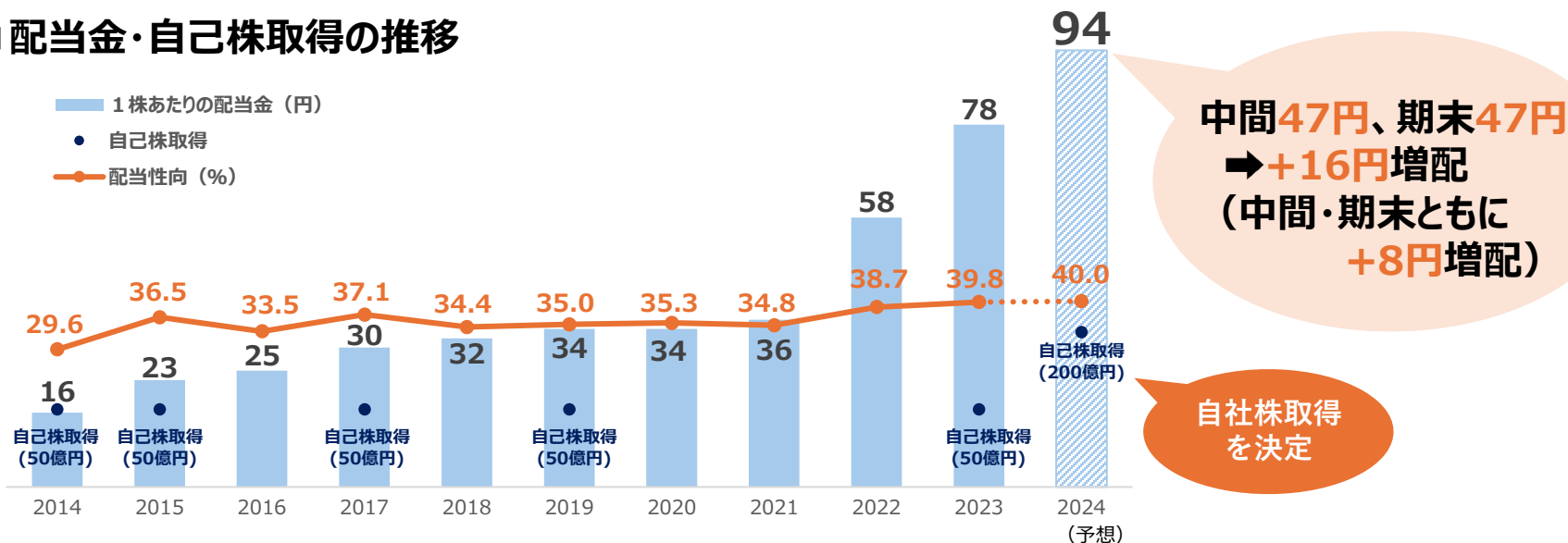
(2025年2月3日 現在)

三和ホールディングス 株価の推移 (2020年3月末=100としたときの指数)



14 株主還元

■ 配当金・自己株取得の推移



■ 配当性向

EPS (1株利益) の**40%**を目安として安定的な配当を目指す

■ 自己株取得

成長のための必要な戦略投資を行い、また手元資金を考慮しつつ自社株取得を検討
150億円を上限とする自社株取得を決定。実施済の50億円と合わせて今期200億円。

項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (修正予想)
配当性向	%	35.3	34.8	38.7	39.8	40.0
1株当たりの当期純利益	円	96.2	103.4	149.7	196.0	235.1
P E R (株価収益率)	倍	15.1	12.0	9.5	13.7	-
1株当たりの純資産	円	814.1	912.7	1,088.9	1,295.5	-
P B R (株価純資産倍率)	倍	1.8	1.4	1.3	2.2	-

[1/31 終値時点]
PER 20.76倍
PBR 3.61倍

15 株主優待情報

3月末現在の株主様を対象に、当社オリジナルのマリリン・モンローQUOカードをお渡ししています。



100株以上保有の株主様	オリジナルQUOカード 500円分
1,000株以上保有の株主様	オリジナルQUOカード 2,000円分 ※保有期間が2年以上の株主様

三和グループでは、1979年より毎年マリリン・モンローを起用し、QUOカードやカレンダーなどを制作しています。マリリン・モンローが他界し、60年以上となりますが、20世紀を代表する女優の一人として人気は高く、ご好評いただいております。

16 外部からの評価

三和グループのサステナビリティへの取り組みや情報開示の姿勢が社外から評価され、国内外のESGインデックスの組み入れや様々な賞を受けるなどの評価を受けています。

ESGインデックスへの選定		主な受賞・評価	
<p>MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数 2024 CONSTITUENT MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数</p> <p>評価アップ</p> <p>MSCI ESG RATINGS AA</p> <p>CCC B BB BBB A AA AAA</p>	<p>FTSE4Good Index Series</p> <p>4年連続</p> <p>FTSE4Good</p>	<p>CDP2023気候変動「A-」評価</p> <p>評価アップ</p> <p>CDP DISCLOSER 2023</p>	<p>第5回日経SDGs経営調査 ★3.5</p> <p>NIKKEI SDGs 経営調査 2023 ★★★★★</p>
<p>FTSE Blossom Japan Index</p> <p>4年連続</p> <p>FTSE Blossom Japan</p>	<p>FTSE Blossom Japan Sector Relative Index</p> <p>3年連続</p> <p>FTSE Blossom Japan Sector Relative Index</p>	<p>大和インベスター・リレーションズ 2023年インターネットIR表彰「優良賞」</p> <p>Internet IR 優良賞 2023 Daiwa Investor Relations</p>	<p>日興アイ・アール 2023年度全上場企業ホームページ充実度ランキング 総合・業種別「最優秀企業」</p> <p>企業ホームページ 最優秀サイト 2023 日興アイ・アール 業種別部門</p>
<p>SOMPOサステナビリティ・インデックス</p> <p>2024 初選定</p> <p>Sompo Sustainability Index</p>	<p>S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数</p> <p>S&P/JPX カーボン エフィシエント 指数</p>	<p>ガラスパーティション「デュオグラス」がグッドデザイン賞を受賞</p> <p>GOOD DESIGN AWARD 2024</p>	<p>Re-carboシリーズ「断熱クックバー-TR」が「2024年」超「モノづくり部品大賞」生活・社会課題リユース関連部品賞を受賞</p> <p>モノづくり 部品大賞</p>

THE INCLUSION OF Sanwa Holdings Corporation IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF Sanwa Holdings Corporation BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

17 コーポレートサイト



■ 個人投資家様向けページ

<https://www.sanwa-hldgs.co.jp/ir/individual/>



■ 決算説明会 動画配信

<https://www.sanwa-hldgs.co.jp/ir/library/document.html>



ご清聴ありがとうございました